

(別添5)

事業所名 グループホーム 敬天

作成日: 平成 25 年 4 月 20 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	(思いや以降の把握) 自分の思いや希望をうまく伝えられない利用者があるのではないか。	一人ひとりの思いを理解し、職員がその思いや希望を理解し、情報を共有し利用者本位のケアを目指す。	日々の会話の中で思いを聞き、感じ取り、カンファレンスやミーティングで意見を出し合い、利用者の思いに沿ったケアに繋げていく。	12ヶ月
2	48	(役割、楽しみごとの支援) 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴、体力、体調、趣味嗜好に合わせた支援ができているか。	利用者が興味を持ち、進んで自分のしたいことや、役割を見出し、希望を伝えられるような環境を整える。	一人ひとりの生活歴や、趣味嗜好の把握をし、話しを傾聴し、その人の希望する情報を提供したうえで、選択できるよう支援していく。できることを多くし、楽しみや生活の張り合いにつなげていく。	12ヶ月
3	49 (18)	(日常的な外出支援) 利用者は自分の行きたいところに自由に外出できていないのではないか。	自分の行きたいところにできるだけ外出できるよう、個別支援に努める。	利用者それぞれの思いを理解し、行きたいところや、家族との外出、買い物、昔馴染みの場所などへの個別の外出を支援していく。家族や知人との面会など随時連絡をし、相手にも無理にならないよう調整していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。